

「雪中にんじん」出番 規格共有、3月中旬まで

[小千谷人参生産組合]

▶出荷規格を確認する生産者



12月14日(月)、ニンジン生産組織「小千谷人参生産組合」は、「雪中にんじん」の出荷に合わせて目合わせ会をJA千谷野菜集出荷場で開きました。生産者やJAの担当職員ら21人が参加。今年産の出来を確認するとともに、品質や大きさなどの出荷規格を共有しました。組合では、雪を生かした高付加価値ニンジンの生産・出荷をしています。「雪中にんじん」は、秋に収穫したニンジンをいったん、雪の中に貯蔵してから出荷しま

す。「雪下にんじん」は、秋に収穫せずに雪の中で越冬させ、雪解けの進む3月下旬から4月下旬に収穫・出荷するものです。

組合の佐藤善一組合長は、今年産の出来について「8月の適度な雨で発芽ぞろいが良く、生育は順調だ。高品質に仕上がっている」と笑顔で話しました。この日は、雪室で貯蔵した「雪中にんじん」370kgを出荷しました。

組合は、生産者12人で組織し、栽培面積は6・9haに達します。「雪中にんじん」と「雪下にんじん」を合わせた総出荷量は120tを見込んでいます。「雪中にんじん」の出荷は3月中旬まで続き、ピーク時には日量約2tを出荷します。

また、同組合は生活協同組合コープにいがたの組合員を対象に、収穫体験を開くなどの消費者交流を進めています。

鳥獣害で初の研修会

[小千谷市園芸振興協議会]



▲鳥獣の生態や被害防止対策を学ぶ生産者

11月30日(月)、小千谷市園芸振興協議会は、初めての鳥獣害対策研修会を、JA総合営農経済センターで開きました。

研修会では、長岡技術科学大学の山本麻希准教授が講演。県内でイノシシ被害が増えていることを紹介し、「小千谷市内でも被害が増える」と予想される。対策には電気柵の設置が効果的だ」と強調しました。

年間約8800舟のニシキゴイを取引

[JA錦鯉市場]



▶一年間の取引にお礼を述べる谷口組合長

11月27日(金)、泳ぐ宝石といわれるニシキゴイの取引市場「JA越後おぢや錦鯉市場」で、平成27年度最後となるせりが行われました。

県内で唯一の錦鯉取引市場には、県内外から多くのバイヤーらが訪れ、にぎわいを見せました。27年度は全33回の市場を開き、計8774舟のニシキゴイの取引が行われました。

年末年始控えて防犯研修



▲防犯対策の強化を呼び掛ける小千谷警察署の坂井署長

12月8日（火）、振り込め詐欺等対応研修会を、小千谷警察署の協力を得てJA本店で開きました。役職員30人が参加し、非常時の対応などを共有しました。今回は、高齢者と接する機会の多い訪問介護を担当する生活福祉課の職員も参加しました。

車のナンバーを覚えたり、カラーボールを投げるなどして痕跡を残してほしい」と対応を求めました。

研修会では、同署員が金融機関強盗対策として「隙を見せない警戒や声掛けの励行、防犯訓練の実施など、犯人を寄せ付けない環境づくりが大切」と強調しました。また、特殊詐欺の被害防止対策として、被害の7割が金融機関の窓口で引き出されていることに触れ、「疑わしく思える取引があったら1人で悩まず上司に相談するなど、組織で対応することが重要。そして警察に相談してほしい」と対応を求めました。

JAの谷口熊一組合長は「組合員や利用者の大切な財産を守るために今回の研修会を生かし、防犯に対する意識の向上を図ってほしい」と呼び掛けました。

千田支店最優秀 提案力、技術向上へ

【自動車共済カウンターセールスコンクール県大会】



▲最優秀賞を受賞する千田支店職員

12月5日（土）、JA共済連新潟主催の自動車共済力ワンターセールスコンクール県大会が、新潟市内で開催されました。県内15JAの出場者と応援の役職員ら252人が参加。当JAは、千田支店の山田千帆と鈴木栄一が出場し、最優秀賞に選ばれました。大会では、カウンターセールスの技術向上を通じ、顧客満足度の向上を目指しました。

特殊詐欺注意 街頭呼び掛け



▲特殊詐欺被害防止を呼び掛けるJA職員

12月15日（火）、年金受給者の特殊詐欺被害を防ぐようと、街頭広報に参加しました。小千谷地区防犯協会連合会と小千谷警察署が、年金支給日に合わせて実施した取り組み。本町のスーパーマーケット前など4カ所で行いました。

JAの支店複合渉外員ら7人は、啓発グッズを通行する市民に手渡しして注意を呼び掛けました。

心込め手作りクリスマスケーキ

[JA女性部]



▲クリスマスケーキの出来栄に笑顔を見せる参加者

12月5日(土)、JA女性部は、親子の絆を育んでもらおうと、クリスマスケーキ作り講習会をJA本店で開きました。組合員や地域住民の親子ら30人が参加しました。講習会は今年で8回目。子どもたちは、丁寧にイチゴやホイップクリームなどを飾り付け、市販のケーキとは一味違うオリジナルのクリスマスケーキを完成させました。

仲間づくりの輪を広げる

[新潟県JA女性組織協議会]



▲新潟市の新潟テルサにて

11月27日(金)、新潟県JA女性組織協議会主催の交流会が、新潟市内で開催されました。県内のJA女性部が集まり、仲間づくりの輪を広げました。会場では、「世界ふしぎ発見」のミステリーハンターでお馴染みの竹内海南江さんが「地球と遊ぶ」と題して講演をしたほか、歌手でタレントの研ナオコさんがヒット曲などを披露しました。

魚沼病院 薬の飲み合わせ

薬の飲み合わせについて

JA新潟厚生連 魚沼病院
薬剤部長 佐藤 宏

- お薬はコップ1杯位の水で飲むのが基本ですが、実際にはそれほど気にしなくてもいい場合もあります。しかし、薬によっては注意が必要な飲食物もありますので以下をご参考ください。
- 「グレープフルーツジュース」：カルシウム拮抗薬(血管を拡張して血圧を下げる)する薬などは効果が強く出過ぎてしまう可能性があります。ちなみにオレンジ、みかんは問題ありません。
- 「牛乳・乳製品」：一部の抗菌薬や骨粗鬆症の薬などはカルシウムと結合し吸収されにくくなります。また、便秘薬などの腸で溶けるタイプの薬が胃で溶け出してしまい効果が弱まる可能性があります。また、ビタミンD薬は大量の牛乳での服用カルシウムやビタミンDを含むサプリメントの併用で血液中のカルシウム濃度が高くなり過ぎて問題となることもあります。
- 「お茶」：タンニンという成分が鉄分(貧血の薬)の吸収を妨げる恐れがあります。しかし、実際にはほとんど影響しないとも言われています。
- 「硬度の高いミネラルウォーター(硬水)」：外国産のミネラルウォーターはカルシウムやマグネシウムなどのミネラルが多く含まれているものもあり、骨粗鬆症の薬や抗菌薬などの吸収が落ちてしまう可能性があります。
- 「コーヒー・コーラ」：カフェイン含量の多い飲み物は、喘息薬(テオフィリン)の作用が増強し、吐き気などの副作用が出る場合があります。また、市販のかぜ薬にはカフェインが入っていることもあり、作用が重なり興奮作用が過度となる可能性もあります。また、胃酸を分泌させるカフェインは胃薬を服用している人は、効き目が弱まってしまう可能性があります。
- 「納豆・青汁・クロレラ」：大量の緑黄色野菜・納豆などにはビタミンKが多く含まれており、血栓予防のワルファリンという薬はビタミンKにより効果が弱まってしまいます。ただし、野菜は大量摂取しなければ避ける必要はありません。
- 「乳飲料、スポーツドリンク」：乳製品やスポーツドリンクなど酸性の飲み物は、マクロライド系抗生剤と混ぜると苦みが増します。お子様に薬を飲ませる時は注意が必要です。
- 「セントジョーンズワート(セイヨウトチリソウ)というハーブの一種」：一部の薬は、効果が弱まってしまつてしまいます。気になる方は薬剤師に相談してください。
- 「お酒」：肝臓の代謝(薬を分解する)能力が落ち、薬が効きすぎる場合があります。お酒で飲むのは非常に危険な場合がありますのでご注意ください。
- 最後に、「冒頭に「それほど気にしなくてもいい」といいましたが、可能な限り水(白湯)で飲むことをおすすめします。